

(2) 6年社会「明治の新しい国づくり」学習カード

[illegible]

GIGA環境で複線型授業を行う際に、他者参照・途中参照を学びの手段として有効活用することで、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」をいっそう円滑に進めることができた。

(1) はGoogleスプレッドシートで用意した学習の進捗状況を各自で示すシートで、一人一人が自分で「◎＝相手に説明できる」「○＝友達と一緒に説明できる」「△＝説明はできないができた」を記録する。教師はこれを見ながら一人一人の学びの様子を把握し必要な個別支援を行う際に役立てる。子供はお互いの様子が把握できるので、同じ課題に取り組んでいる友達と協働するきっかけを作ったり、教え合いに結び付けたりすることができる。

(2) はGoogleスプレッドシートで用意した学習カードで、お互いのカードはタブで開くことができ他者参照できる。課題の設定、情報の収集、まとめ・振り返りを記録しているので、他者の学び方を参考にできる。この図には「キーワード」を書く欄があるが、授業者の工夫次第で、より充実した学習履歴にすることができる。

(3) はオンラインホワイトボードに教科書の問題を学級人数分貼り付けたシートで、一人一人が自分のエリアの問題を解く過程で、画面をスクロールすれば簡単に他者参照ができるようになっている。他者の考え方を参考にしながら、自分の見方・考え方を確かめたり広げたりすることができた。